



議長 鳥飼 秀夫



副議長 戸田 光昭

新年あけましておめでとうございます。区民の皆様には、新春をお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は、済州市、大連市中山区との友好都市提携やウイーン市ドナウシユタツト区との国内の都市との交流を積極的に進めました。一方、区政の各分野では、社会経済状況の変化や多様化する区民ニーズに対応するための施策を展開した年でした。とりわけ、10月末に発表された日本経済新聞社などによる全国の市及び23区を対象とした「行政サービス調査」では、第5位の評価をいただきました。

今後も、区議会といたしましては、区民の皆様のご期待に応えるため、執行機関と連携し、より豊かで活力に満ちた区民生活の実現に全力を尽くしてまいります。

本年も、区民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

## 新年のごあいさつ



## 議案の審議結果

平成18年第4回定例会

○賛成 ×反対 一出席 太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は、会派人員)					結果
	自民党正論の会	尚志会	あらかわ元気クラブ	新里クラブ	日本共産党荒川区議会議員団	
<b>議員提出議案(7件)</b>						
第12号 都市計画税及び固定資産税の軽減措置等の総額に関する意見書提出について	○	○	○	○	○	可決
第13号 固定資産税の償却資産に関する意見書提出について	○	○	○	○	○	可決
第14号 荒川区議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
第15号 荒川区議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	可決
第16号 荒川区議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	×	×	○	×	×	否決
第17号 荒川区議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例修正案	×	×	○	×	×	否決
荒川区議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
<b>区長提出議案(16件)</b>						
第63号 荒川区大規模マンションの建設計画に係る地域における生活環境の配慮のための事前協議等に関する条例	○	○	○	○	○	可決
第64号 荒川区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
第65号 荒川区保健所の設置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
第66号 災害に際し応急措置の業務等に従事した者に係る損害補償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	×	○	可決
第67号 財産の無償貸付けについて	○	○	○	○	○	可決
第68号 財産の取得(住宅用火災警報器)について	○	○	○	○	○	可決
第69号 荒木田ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	可決
第70号 西尾久ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	可決
第71号 荒川総合スポーツセンターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	可決
第72号 東京都後期高齢者医療広域連合規約	○	○	×	×	○	可決
第73号 町区域の変更について	○	○	○	○	○	可決
第74号 特別区道第55号線の路線の廃止について	○	○	○	○	○	可決
第75号 特別区道荒311号線の路線の認定について	○	○	○	○	○	可決
第76号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
第77号 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	×	○	可決
第78号 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決

## 区議会第4回定例会 荒川区議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例を全会一致で可決

区議会第4回定例会が、11月30日から12月12日までの13日間の会期で開かれました。本会議の1日目と2日目には、6人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました。(要旨は2・3面に掲載しています)。

本定例会では、議員から荒川区議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の議案が提出されました。議会運営委員会の審査を経て、政務調査費の減額、使途基準を明確化し、対象範囲を狭めるとともに、領収書原本を報告書に添付することなどを盛り込んだ改正案が12日の本会議において全会一致で可決されました。

### 掲載記事のご案内

## 区議会第4回定例会

### 区政のついで

#### 一般質問要旨

- 萩原 豊議員 (自民党)
- 萩野 勝議員 (公明党)
- 安部キヨ子議員 (共産党)
- 片山 浩議員 (新里クラブ)
- 斉藤裕子議員 (元気クラブ)

#### 服部敏夫議員 (自民党)

#### 意見書提出

#### 採択した請願・陳情

#### 第4回定例会の日程

### 4面

新春を迎えて  
各会派の抱負

### 3面・2面

# 区政のよさを多く

## 一般質問 要旨

### 子ども医療費助成制度と 日暮里・舎人ライナー整備 について



荻原 豊  
(自民党)

子ども医療費助成制度について

わが国は未曽有の少子高齢化社会に突入り、少子化対策について、国民のニーズにこたえる施策の展開が強く求められている。少子化対策は地方自治体だけで解決できるものではないが、区においても出来る限り、子育て世代を応援し、区民の幸せを追求していくべきである。区独自の子育て支援策の中で、最も重要な施策のひとつである子ども医療費助成事業について、都の見直し案が示されたが、都の補助制度の条件をそのまま適用するのではなく、所得制限なく、全ての小学生を対象に、入院・通院を問わず、自己負担額を助成すべきであると考えられている。また、この事業に必要な経費の負担額は

どのくらいになるのか。

子ども医療費助成制度については、平成19年4月から、対象者を小学校就学前の児童から、中学校卒業までの児童・生徒とし、現行と同様に所得制限を設けず、入院・通院とも対象とする。これにより、対象者数は、現在の8千人強から2万人程度に拡大する。都の助成制度では、所得制限があり、かつ、区民の自己負担額を2割相当にするというもののだが、本区の子育て支援策としては不十分と考え、区での制度拡充を決定した。平成19年度で試算すると所要経費は7億8千万円程度と見込まれ、このうち1億9千万円が都の負担となり、5億9千万円程度が区の負担となる。

子ども医療費助成制度について

日暮里・舎人ライナー整備について

行政サービス調査の結果

平成9年12月に着工した日暮里・舎人線は、路線も日暮里・舎人ライナーと決まり、着々と整備が進んでいる。熊野前の駅舎は東側に整備されるため、西側への連絡機能の確保が課題であったが、現在、西側への連絡機能は確保できるようなったのか問う。

熊野前駅西側地域への連絡通路は、用地取得も終了した。ランニングコースは区の負担となるが、エリアの要望を取り入れ、エレベーターとエスカレーターを備えた連絡通路の実現が現実なものとなっている。

日暮里・舎人ライナーの開業を契機として、地域の活性化につなげるために開業イベントを開催してはどうか。さらに区民を対象に各駅の駅舎見学会や試乗会を開催すべきと考えるがどうか。

日暮里 舎人ライナーの開業は区内4駅を中心とした地域の活性化のための契機としたい。今後、地域と連携し、開業イベントの実施について検討していく。駅舎見学会や試乗会については、多くの皆様を愛さるべく、より多く利用していただくために、実施に向けて事業者と協議していく。

### 財政基盤の強化と 2007年問題について



萩野 勝  
(公明党)

財政基盤の強化について

区が目指す将来像の実現に向けた基本構想の推進のために、基本計画、実施計画、各種事業計画の策定とともにその裏づけとなる中・長期の財政計画が必要であると考えられている。健全な財政運営を堅持しながら、行政需要に的確に対応するため、新たな基本計画には10年間の財政収支の見通しを明らかにしたいと考えている。また、平成19年度から22年度まで

公債は、将来に元金や利息の返済義務が区に生じる。公債の減額については、基金とのバランスを考慮しながら、一定の減額目標を設定して、財政基盤の強化を図っていくべき。

区の公債残高は、減少傾向にあり、区財政の状況は健全化傾向にある。今後、特別区債の発行は、将来の財政負担を見極め、必要最小限に抑制し、公債費比率を可能な限り現状の7%台に堅持していきたい。

区は自立した基礎的自治体として、強固な財政基盤の確立に取り組む必要がある。仮称「自主財源確保のための検討委員会」を設置し、知的財産権の確立を等しく、知的財産権を取り組むべきと考えるがどうか。

区では荒川ポンティアセンターへの支援を検討している。さらに意識調査を実施し、団塊世代の受け皿について、より有効な対策を打ち出していきたい。

高齢者雇用安定法が改正され、65歳までの段階的定年引き上げ、継続雇用制度の導入が施行された。区として区内産業界の支援を、高齢者雇用安定法を活用した雇用拡大策が必要と考えるがどうか。

区では、高齢者雇用安定法の改正の趣旨内容、各種助成金の内容を広く周知するとともに、所要経費について、必要に応じ、区の制度融資を紹介・あっ旋していく。また、区内事業所の活性化を図り、高齢者の雇用促進を支援していく。

定年後も自由に仕事をしたい。自分の人生設計に合わせる事ができる雇用インフラ整備が団塊世代には必要である。公益法人制度改革を見据え、新たな視点での人材センターの設立を図るべきではないか。

就労意欲の高い地域

### 新年度予算編成の基本姿勢と 廃プラスチックの可燃ゴミ化 について



安部キヨ子  
(共産党)

新年度予算編成の基本姿勢

来年度の住民税増額と国民健康・介護保険料の負担額の減額を示すこと。また、最低生活費を割り込む区民への負担軽減策として、せめて介護除額第一・三段階の方で貯蓄が300万円以下の方を対象に保険料を免除すべき。

今回の税制改正に伴い、区の19年度の税収は約17億円増えると試算している。国民健康保険料は負担の高齢者の受け皿である荒川区シルバー人材センターに対し、さらなる機能の拡充支援を図っていく。また、退職後の団塊世代が活躍できる新たな視点での人材センターについては、さらに検討を進めていく。

その他の質問項目

住宅政策について

町屋地域の整備について

廃プラスチックの可燃ゴミ化を中止すること

廃プラスチックを燃やすサーマルリサイクル処理を中止し、プラスチック資源化のための取り組みを検討すべき。

サーマルリサイクルは最終処分場の延命と資源の有効活用観点から23区において、平成20年度からの本格実施を予定している。一刻も早い解決が求められており、区としては、区民の皆様にも必要性を十分説明し、サーマルリサイクルを実施していく。

ペットボトル回収に「二ボット制」などモノリ事業を実施し、その回収経費は23区連携して製造事業者へ負担を求め、区民の協力を得ながら、これまでの店頭回収や集団回収モデル事業での回収を拡充する形で回収体制の強化を図っていく。事業者責任の拡大は、今後も他区と連携し、国等に働きかけていく。

その他の質問項目

マンションの地震対策

地域の医療介護体制の充実に実効性のある教育問題

直面する教育問題

直面する教育問題

直面する教育問題



### 温かく見守りあえる地域社会、快適でいきわいのある街づくりについて



片山 浩 (新星クラブ)

温かく見守りあえる地域社会の構築を目指して

ひとり暮らしが増える中、誰にもみられずに亡くなる孤独死が増えている。区としても、この問題に対して実態を把握、対応するべきではないか。

孤独死を防止するに

は、高齢者と地域の方々の間に、密接なコミュニケーションが保たれていることが必要である。訪問見守り活動の強化など地域団体等

に働きかけていく。快速でにぎわいのある街づくりについて

都電を三ノ輪橋から

は、高齢者と地域の方々の間に、密接なコミュニケーションが保たれていることが必要である。訪問見守り活動の強化など地域団体等

### 区民が豊かに暮らせる荒川区をめざして、新たな荒川区基本構想に提言する。



斉藤 裕子 (元気クラブ)

もひらへい、商店街、住宅が共存する元気な荒川区を

出店の適地性を考慮したゾーニングや、総床面積規制を盛り込んだ大型店の出店とまっぴらに関

する条例」を提案する。

大型小売店の出店を規制する条例の制定は、各種法令等の整合性の確保や関係者との調整など、様々な課題があり、困難である。

区としては、日暮里、三河島についても区を代表する観光スポットとして、情報の発信に努めていく。

区立保育園の公設民営方式は、他の区立保育園にも導入を検討していく。また、給食調理業務の委託は、順次、進めていく。

子育て支援の充実について

所得の少ない若年層向けの区民住宅などの整備、家賃助成や出産祝金などの現金給付を提案する。

区では若年層への住宅環境の整備なども調査研究していく。現金給付は、国との役割分担のなかで解決すべき問題である。

保育園と給食はどこまで民営化するのか。公立・直営を残す考えはないのか。全体計画を示すべきだ。

区立保育園の公設民営方式は、他の区立保育園にも導入を検討していく。また、給食調理業務の委託は、順次、進めていく。

子育て支援の充実について

所得の少ない若年層向けの区民住宅などの整備、家賃助成や出産祝金などの現金給付を提案する。

区では若年層への住宅環境の整備なども調査研究していく。現金給付は、国との役割分担のなかで解決すべき問題である。

保育園と給食はどこまで民営化するのか。公立・直営を残す考えはないのか。全体計画を示すべきだ。

区立保育園の公設民営方式は、他の区立保育園にも導入を検討していく。また、給食調理業務の委託は、順次、進めていく。

### 京成線沿道の整備計画と荒川自然公園のイメージアップ・活用策について



服部 敏夫 (自民党)

京成線沿道の整備計画について

街路灯の整備が進められているが、依然として暗さが目立つところがある。また、橋脚、布巾画的な構構のため、交差点の誤入など危険な要素もある。何らかの対策を講ずるべき。

京成線高架下の店舗等の転居による暗がり解消

に、調査検討していく。また、交通安全の観点から、交差点にポイントとなるサインの設置や路面表示などについては、警察とも協議しながら検討していく。

藍染川通りのガードパイプについて

必要があるのではないかと、沿道にフラワーボックスやプランターなどを設置し、フラワーストリートとしてほしい。

高架橋耐震補強工事

により道路状況も変化しており、ガードパイプの設置状況を調査し、計画的に対応していく。また、フラワーストリートの提案は緑の少ない荒川区の街づくりに欠かせない視点であり、積極的に取り組んでいきたい。

新三河島駅前周辺の放置自転車、歩行者への迷惑のみならず、通行車両のみだしといった安全な通行の阻害要因となっている。区の自転車条例に規定

している鉄道事業者の協力について、区が積極的に働きかけることで、問題の解消に向かうのではないかと

新三河島駅前には駐輪施設がなく、新しい自転車駐車場用地を確保することとは困難であり、技術的な放置自転車対策を取れない状況である。従って、京成線高架下の活用について、鉄道事業者に協力を求めたい等、放置自転車のない街づくりを進めていく。

荒川自然公園イメージアップと活用策について

荒川自然公園は時代の変化や時間の経過とともに改善の時期に来ていると考える。来園者に分かりやすい出入り口やスロープの構造改善等、利用者にとって利便性の高いものにしていく必要がある。また、パークビュー等の可能な公園として改良し、新たな活用策を図る必要があると考える

公園へのアプローチの改善については、バリアフリーの観点からも重要であり必要性は認識している。

その他の質問項目

交通安全対策について

観光振興策について

GAH(荒川区民幸福度)の指標について

詳細については現在作成中の会議録が出来ます。区立図書館および区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区ホームページの区議会情報のページ(<http://www.city.akawatakyo.jp/kugikai/>)で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。

意見書提出

本定例会では2件を可決し、関係機関に提出しました。

採択した 請願・陳情

採択 小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減免措置の継続につき意見書の提出を求める陳情

負担水準が65%を超える商業地等の税額軽減措置の継続につき、意見書の提出を求める陳情

都市計画税の軽減措置の継続につき、意見書の提出を求める陳情

固定資産税における償却資産に関する意見書提出の陳情

第4回定例会日程

11月30日 本会議

12月1日 本会議

総務企画委員会

文教・子育て支援委員会

福祉・区民生活委員会

建設環境委員会

議会運営委員会

本会議

本会議

本会議

本会議

本会議



# 自民党

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

日本経済新聞社と日経産業消費研究所が実施した「行政サービス調査」で荒川区が全国で5位となりました。前回(平成16年)の結果が77位でしたので、大躍進といえます。自民党が区議会の第一党として、行政と力を合わせて勝ち取った成果だと考えています。これからも常に荒川区民のための区政を進めてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

**行政改革**  
自治体も倒産する時代になりました。荒川区は財政基盤が弱いと言われながらも、人員削減や民間委託などに積極的に取り組み、ムダをなくしてきた結果、健

え、更に、改革を進ませています。  
【新しい公明党】のスタートにあたり、「大衆と共に語り、大衆と共に戦い、大衆の中に死んでいく」との、立憲精神のもと「教育改革」「少子高齢化」「新しい経済成長」「地域再生」「格差抑制」の5つに挑戦してまいります。

その上で「現場」と「若者」に焦点をあて、現場からの改革の推進を目指すとともに、ニートやフリーター

# 公明党

全な財政状況を維持していただきます。今後も責任政党として、真に必要な政策に予算を重点的に投入してまいります。

【危機管理】  
全小学校・学童クラブの安全パトロールに加え、防犯カメラを設置するなど、子どもの安全対策を充実してきました。また、廃止される交番を区が主体となって地域の防犯拠点として維持します。区内全世帯に3年間で火災警報器を配布します。浸水対策や防災対策も積極的に進めていきます。

【教育改善】  
行政サービス調査で、教育部門は全国で1位でした。東京都の学力調査でも小学校は23区中9位となっています。習熟度別学習や英語教育に加え、国語教育にも力を入れて、教育を一層レベルアップしていきます。

また、中央図書館の建設に向けた検討や学校図書館の

改善により、本を読める環境づくりをしていきます。  
【子育て支援】  
自民党が提案してきた子どもの医療費助成が中学生までに拡大することになりました。また、子ども家庭支援センターの拡充や産後間のお小児初期救急医療、学童クラブの増設などにより、安心して子育てができる環境を整備してまいります。

# 福祉

介護保険制度の改正により、急激に負担の増える方々の負担軽減や、介護予防の充実、自立支援法により影響を受ける障害者のために、ガイドヘルパーなどの利用者負担を軽減してまいります。

【区内産業の活性化】  
区内のすぐれた製品を荒川ブランドとしてPRしたり、都電のバラやあらかわ遊園などによる観光施策にも力を入れ、区のイメージ

アップと地域の活性化を図ります。また、区内企業の経営支援のため、融資制度や区内事業者優先の契約制度を進めます。

【健康づくり】  
満点メニューや全国転倒防止サミットなどにより、区民の皆様がいっつまでも健康で暮らせるように介護予防策を充実します。

# 福祉

介護保険制度の改正により、急激に負担の増える方々の負担軽減や、介護予防の充実、自立支援法により影響を受ける障害者のために、ガイドヘルパーなどの利用者負担を軽減してまいります。

【福祉】  
介護保険制度の改正により、急激に負担の増える方々の負担軽減や、介護予防の充実、自立支援法により影響を受ける障害者のために、ガイドヘルパーなどの利用者負担を軽減してまいります。

【福祉】  
介護保険制度の改正により、急激に負担の増える方々の負担軽減や、介護予防の充実、自立支援法により影響を受ける障害者のために、ガイドヘルパーなどの利用者負担を軽減してまいります。

【福祉】  
介護保険制度の改正により、急激に負担の増える方々の負担軽減や、介護予防の充実、自立支援法により影響を受ける障害者のために、ガイドヘルパーなどの利用者負担を軽減してまいります。

# 共産党

新年あけましておめでと。今年あけましておめでと。今年あけましておめでと。

【中学生までの医療費無料化】が4月実施になります。日本共産党区議団の返信用封筒付き署名、アンケートに寄せられたお母さん方の声の広がりが区議会も区も動かしました。

また、大企業は若者使い捨てで利益をあげ、ろくに税金を払っていません。一方で、毎年、年金は目減り、増税や介護保険料引き上げで区民の暮らしは大変です。

【庶民の目線】にたち、ネットワーク政党として、区民の皆様の声聞きながら、生活に根ざした政策実現のため、全力で取り組んでまいります。

# 新屋クラブ

廃止を求めています。荒川区は、福祉事業の廃止や住民税増税などで昨年度44億円の黒字、211億円の基金(貯金)があります。今年、廃止した「介護福祉の手当」や「敬老金」を復活させ、介護保険料軽減を提案し、お年寄りの暮らしを応援できるようにがんばります。

【区民の暮らし】  
今年、廃止した「介護福祉の手当」や「敬老金」を復活させ、介護保険料軽減を提案し、お年寄りの暮らしを応援できるようにがんばります。

【区民の暮らし】  
今年、廃止した「介護福祉の手当」や「敬老金」を復活させ、介護保険料軽減を提案し、お年寄りの暮らしを応援できるようにがんばります。

【区民の暮らし】  
今年、廃止した「介護福祉の手当」や「敬老金」を復活させ、介護保険料軽減を提案し、お年寄りの暮らしを応援できるようにがんばります。

# 元氣クラブ

ものづくり・商店街・住居の調和で、区民が豊かに暮らせる元氣な下町、荒川区をめざします。齊藤ゆうこ

ものづくり・商店街・住居の調和で、区民が豊かに暮らせる元氣な下町、荒川区をめざします。齊藤ゆうこ

ものづくり・商店街・住居の調和で、区民が豊かに暮らせる元氣な下町、荒川区をめざします。齊藤ゆうこ

ものづくり・商店街・住居の調和で、区民が豊かに暮らせる元氣な下町、荒川区をめざします。齊藤ゆうこ

# 尚志会

日本人の誇りを守り、正直者が馬鹿を見ない区政にすべく、愚直に初心を忘れず、取り組みごとを約束します。

日本人の誇りを守り、正直者が馬鹿を見ない区政にすべく、愚直に初心を忘れず、取り組みごとを約束します。

日本人の誇りを守り、正直者が馬鹿を見ない区政にすべく、愚直に初心を忘れず、取り組みごとを約束します。

日本人の誇りを守り、正直者が馬鹿を見ない区政にすべく、愚直に初心を忘れず、取り組みごとを約束します。

# 自民党 正論の会

格差社会を是正し、医療難民・介護難民を無くす事に全力で取り組みます。今年も一緒に頑張りましょう。

格差社会を是正し、医療難民・介護難民を無くす事に全力で取り組みます。今年も一緒に頑張りましょう。

格差社会を是正し、医療難民・介護難民を無くす事に全力で取り組みます。今年も一緒に頑張りましょう。

格差社会を是正し、医療難民・介護難民を無くす事に全力で取り組みます。今年も一緒に頑張りましょう。

自由民主党 荒川区議会議員団 幹事長 並木 一元 副幹事長 茂木 弘 若林 清子 長崎 慶一 服部 敏夫 守屋 誠 志村 博司 竹内 捷美 鳥飼 秀夫 菅谷 安男 齊藤 泰紀 鈴木 堅之 萩原 豊 須永 京子	公明党 荒川区議会議員団 幹事長 中村 尚郎 副幹事長 武藤 文平 吉田 詠子 保坂 正仁 萩野 勝 戸田 光昭	日本共産党 荒川区議会議員団 幹事長 横山 幸次 安部 幸子 齊藤 邦子 相馬 堅一 小島 和男	新屋クラブ 幹事長 瀬野 喜代 副幹事長 片山 浩 あらかわ元氣クラブ 幹事長 齊藤 裕子	尚志会 幹事長 小坂 英二	自民党正論の会 幹事長 浅川 喜文
---	---	--	---	------------------	----------------------